

クリスマスには家に帰ることができました。今でも血液検査で肝機能値は悪いのですが、食欲もあり、十五歳とは思えないくらい元気に暮らしています。大型犬の十五歳というのは大変長生きです。大型犬は十三歳を超えると急に老化が進

年とつて ますます 賢く

なってきたとのことで
す。
ヒメちゃんは、お家の
中で排尿しますが、お母
さんがシーツの片付けを
するのを見ていたのでし

よう、最近になって、排尿したあとペットシーツを、鼻で上手にたたむことを覚えたそうです。またある時、お父さんが歯磨きを始めると脇へ来

「ヒメも磨くか」とヒメちゃんの歯磨きをしてあげると、うれしそうに歯を磨いてもらい、それからお父さんとの歯磨きが日課となりました。磨

緒にすごし、そして最後までみてあげることで、飼い主さんも充実した時間が得られるのだと思します。

ラブ・ラドール・レトリバーのヒメちゃんは、先月十五歳の誕生日を迎えた。ヒメちゃんは今まで大きな病気をすることがなくすこしていまし
たが、昨年の十二月はじめに急性肝炎を発症し入院しました。年齢的にも高齢で、血液検査の値も非常に悪く、回復は難しかと思われましたが、毎日面会にくる飼い主さん
の励ましにこたえるようにならなかったのです。ヒメちゃんはまつたくこのようなことはなく、お父さんいわく、
み、十五歳以上の大型犬は本当に少なくなります。また高齢になると、ヒンちゃんもボケが始まります。
症状としては、銅イミンに無関心になる・部屋の中をぐるぐると回って歩く・狭いところに入る・後戻りできなくなる・脅間はこんこんとなるなどです。ヒメちゃんは年をとつてますます賢く

Digitized by srujanika@gmail.com



草村 正人（獣医師・新潟市）

—毎月第2・4木曜掲載—

動物の診察室から

○ 15 ○

検診を終えたヒメちゃん。病院の玄関でバチ